

学習意欲がある生徒には国公立や東京理科大の夜間学部等を薦めてみる。夜学は教授陣もそろっている、社会人も多いので刺激的。学費も安いところが多い。資格も取れて卒業後、奨学金の返済にも追われないで済むので。(静岡県)

家庭の経済環境に関して、子どもに知られたくない保護者の場合、生徒との面談、保護者との面談をまずそれぞれ行い、双方の考えを聞いたうえで具体的な解決策について三者面談を行う。(和歌山県)



楽観的な期待や奨学金など安易な話はしない。現実的な話はきちっとする。(千葉県)

奨学金やアルバイトの情報など、具体的な進学後のお金の流れを保護者、生徒と一緒に考える。過去の同じような境遇の卒業生の事例などを提示し、「こうすればやれる」という見通しを持ってもらう。(北海道)



リクナビ進学も活用し、学級通信でお金の話を取り上げています。(東京都)

両親が亡くなり生活基盤が厳しい中、朝夕の新聞配達・奨学金制度の活用、住み込みで働き、無事3年間で卒業した過去の生徒の事例を話し、どんな状況も必ず乗り越えられると親身に話をし、また、生徒の話を聞き、最善策を探るようにしています。(大阪府)



家庭環境は話を聞き、考えられる解決方法を提案する。経済環境に関しては高1の早い段階で進学費に関するセミナーを保護者向けに開催。奨学金等の資料も準備し、情報提供を行う。(茨城県)

## 進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：家庭・経済環境の厳しい生徒の、  
進路決定に向けたフォロー

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載りきらなかったヒントも掲載  
キャリアガイダンス.net > [進路指導、私の工夫] をチェック!